

三機工業グループの超長期ビジョン

三機工業グループは、超長期ビジョンとして2050年の姿「選ばれ続ける三機へ!」を掲げています。
エンジニアリングを通じた快適環境の創造を強みに、5つのマテリアリティに基づくサステナビリティ経営を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献します。

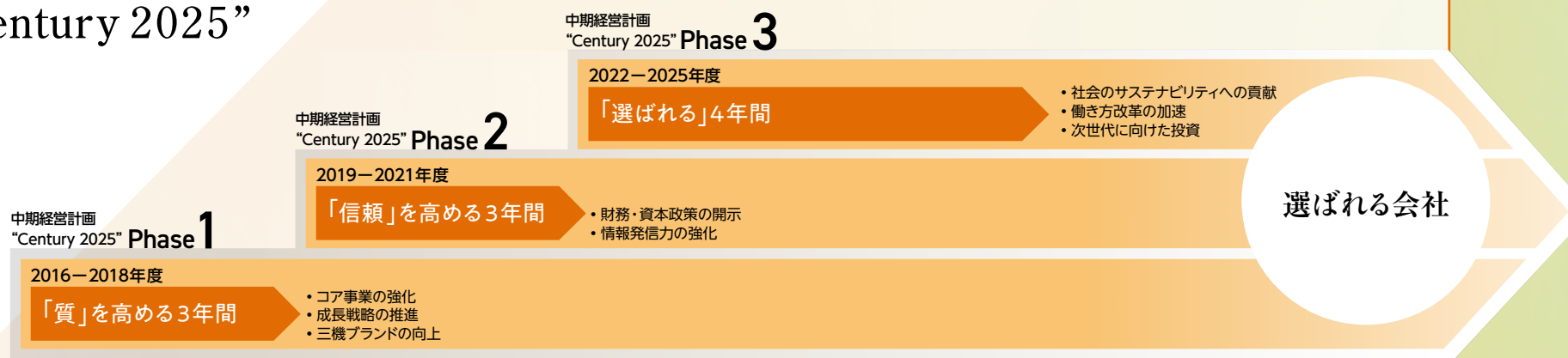
サステナビリティ方針

「エンジニアリングをつうじて快適環境を創造し広く社会に貢献する」ことにより、
強靱な経営基盤と持続可能な社会の実現を目指します

長期ビジョン “Century 2025”

創立100周年に向けた長期ビジョン“Century 2025”で「質」と「信頼」をさらに高め、ステークホルダーからもっと「選ばれる」会社を目指しています。

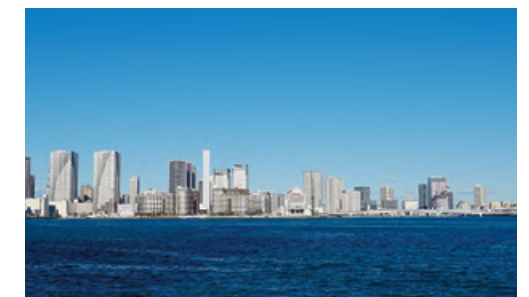
P. 26-29
中期経営計画
“Century 2025” Phase3
(2022～2025年度)の進捗



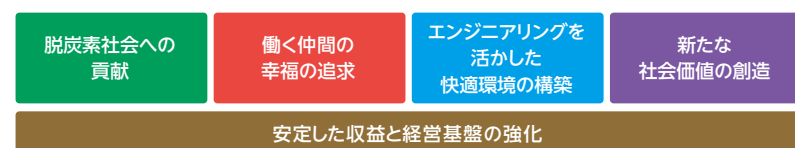
2050年 超長期ビジョン

「選ばれ続ける三機へ!」

カーボンニュートラルなど、
さまざまな社会課題に対して
快適環境を創造するエンジニアリングで
答えを出し、サステナブルな世界の
実現に貢献する企業でありたい



サステナビリティ経営の推進に向けて、さまざま視点から抽出した課題を「環境・社会価値の向上」と「企業価値の向上」の面から優先順位の高いものをグループ化し、5つのマテリアリティを特定しました。



P. 24-25 三機工業グループのマテリアリティ(重要課題)

脱炭素に関連する省エネルギー・創エネルギーへの取り組みは、総合エンジニアリングを展開する当社グループの本業に直結する部分でもあることから、特定したマテリアリティの中でも「脱炭素社会への貢献」を最優先課題として位置づけています。2050年のカーボンニュートラルの達成とそれに向けた中間目標を設けました。

SANKIカーボンニュートラル宣言

三機工業グループは、世界が直面する気候変動問題に真摯に取り組み、グループ自らの温室効果ガス排出量(Scope1,2)においては2030年までに、サプライチェーンを含む温室効果ガス排出量(Scope1,2,3)においては2050年までにカーボンニュートラルを目指します。